

11 場所別の自殺の状況

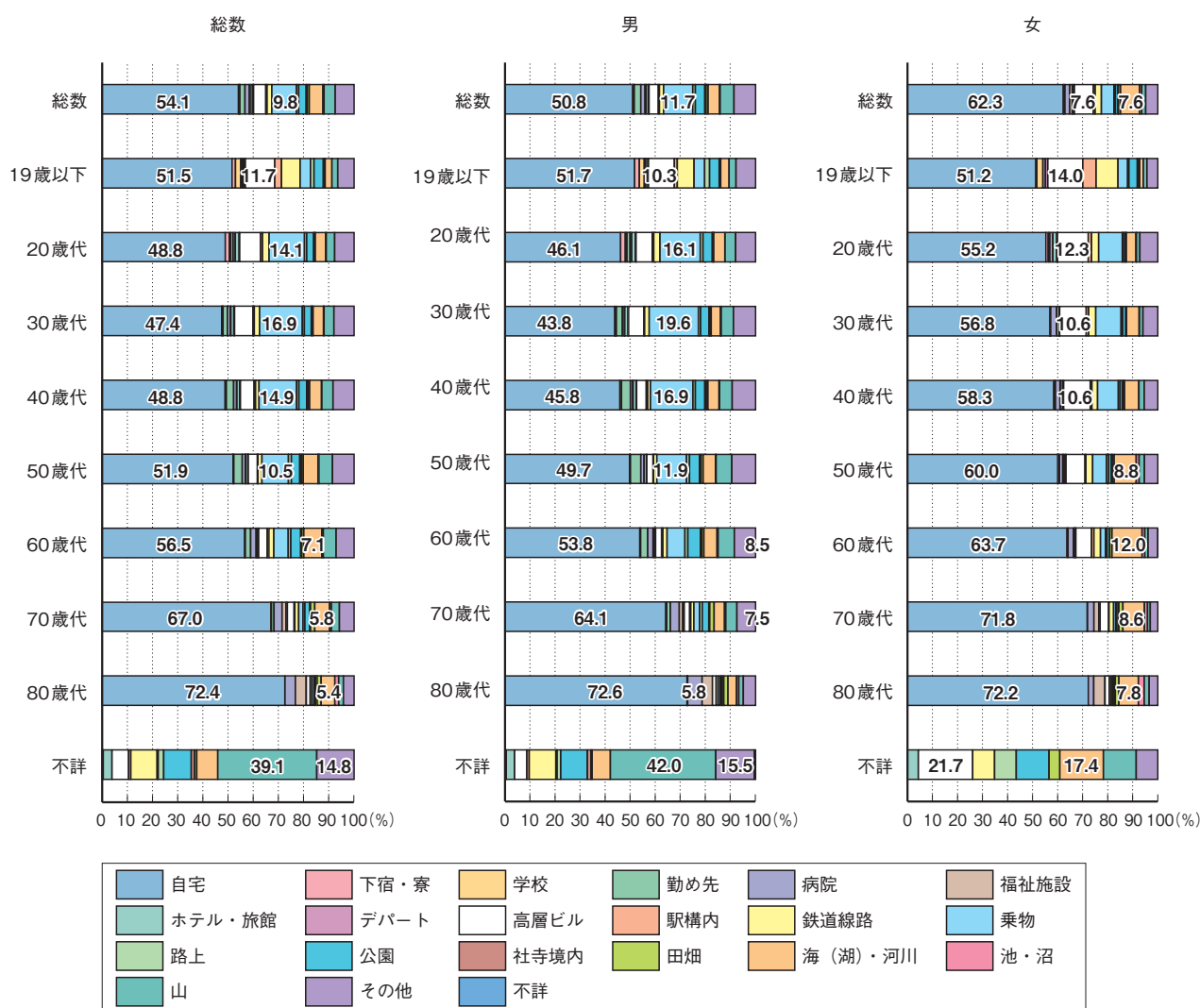
平成21年における場所別の自殺の状況について、自殺統計によれば（第1-35図）、「自宅」1万7,763人（54.1%）が最も多く、次いで、「乗物」3,213人（9.8%）、「海（湖）・河川」1,771人（5.4%）、「高層ビル」1,579人（4.8%）、「山」1,447人（4.4%）の順となっている。

男女別にみると、男性については、「自宅」1万1,928人（50.8%）に次いで「乗物」2,738人（11.7%）、「山」1,296人（5.5%）となっている。女性については、「自宅」5,835人

（62.3%）に次いで「高層ビル」711人（7.6%）、「海（湖）・河川」709人（7.6%）の順となっている。

年齢階級別にみると、男女とも全ての階級において「自宅」が最も多いが、男性については、「自宅」に次いで、19歳以下は「高層ビル」、20歳代～60歳代までは「乗物」、70歳代は「山」、80歳代以上は「病院」となっている。女性については、「自宅」に次いで、40歳代以下は「高層ビル」、50歳代以上は「海（湖）・河川」となっている。

第1-35図 平成21年における男女別・年齢階級別（10歳階級）・自殺の場所別の自殺者数の構成割合



資料：警察庁「自殺統計」より内閣府作成